

2022年4月8日

文京学院大学外国語学部 対面(面接)授業実施プロトコール

本プロトコールは、本学の対面授業実施プロトコールに沿った標準的な手続きを示したものです。現時点での内容で、今後の状況により適宜修正を行うことがあります。学生、教職員の健康維持、安全対策について配慮のほどお願いします。

【1. 使用教室の確認】

教室の換気、机・イス等のレイアウトを確認し、着席位置、換気および授業の実施方法を検討する。

【2. 受講生への周知】

対面授業の日時を受講生に通知する。

「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル学生用」にしたがって行動することを指示する。とくに、入構時の手指消毒と学生証による記録、「健康観察チェックシート」による健康観察と記入、判断例に基づく登校可否の判断と登校時の携帯の徹底を求める。

当該科目における出欠のとり方(遅刻や欠席の扱い)について説明する。

【3. 受講生の入室】

教室の出入口および窓を開放しておく。

教室入室前に教室前設置の手指消毒薬にて手指消毒を行うこと、教室内に設置の消毒液と紙タオルにて机・イスなど自分自身が使用する場所・物品の消毒を行い、使用した紙タオルは指定のゴミ袋に片付けるよう指示する。

着席位置は、出来る限り左右および前後に隣り合って座ることがないように指示する。

受講生の当日の着席位置を記録し、保管する。座席指定を行う場合は、事前に作成した座席表(書式は教務グループより入手)にしたがって着席させ、記録をとる。座席を指定しない場合は、座席表を提示し、座席位置を記入させる等により記録をとる。

【4. 授業の実施】

やむを得ず出入口または窓を閉めなければならない場合、30分に1回、5分程度の換気を行う(窓は強い風雨時以外は常時開放する)。

教員と受講生または受講生同士の距離を1m以上は確保する(マスク着用に加えフェイスシールドも利用可能)。

受講生によるペアまたはグループの活動の際は、安全な距離を保ち、静かに話しあうよう指示する。

教員と受講生、受講生同士が密接する授業内容を実施する場合、マスク着用、手指消毒を徹底した上で実施する。とくに密接する実技等は、原則、1行為後には手指消毒を行う。

ペアまたはグループの活動を行う場合、メンバーは固定する。

必要に応じて、授業で使用した器具等の備品を、使用した受講生自身が消毒するよう指示する。

ディスカッション等については別に定める。

【5. 授業後】

教室の出入口および窓を開放する。

できるだけ密集を避けて速やかに退出するよう指示する。

以上

※本プロトコールは今後の状況をもて適宜修正するものとする。